学校番号	209

令和８年度　国語科

教科	国語科	科目	古典Ｂ	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	なし						
副教材等	「リード古文１　基礎編」（啓隆社） 「マドンナ古文単語２３０」（学研）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

教養としての古文を読解する力を身につけることを目標に、古文単語・古典文法・古文読解を行っていきます。古文読解においては、平安時代の文章を中心として江戸時代までの文章を幅広く学んでいきます。古文単語や古典文法においては各種学習事項の暗記も必要ですが、あくまでもそれは文章を読むための手段です。昔の人々が経験したことや考えたこと、また物語などを読むことを通して現代を改めて見つめ直すきっかけとしていきましょう。

２　学習の到達目標

【知識及び技能】
基本的な古典常識を身につける。文法事項（おもに用言、助動詞など）の定着。
【思考力、判断力、表現力等】
上代（奈良時代）から近世（江戸時代）にいたるまでの古典作品を、正確に読解し、その内容を言葉で的確に表現、説明できるようにする。
【学びに向かう力、人間性等】
言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって古典作品に親しむことで、自分の思いや考えを広げたり深めたりして、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a　知識・技能	b　思考・判断・表現	c　主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	古典常識の知識を身につけ、文章の中でどのように用いられているかを読み取る力を養う。 基本的な文法事項を定着させる。	中古（平安時代）、中世（鎌倉・室町時代）を中心とした古典作品を、正確に読解し、その内容を言葉で的確に表現、説明できるようにする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって古典作品に親しむことで、自分の思いや考えを広げたり深めたりし、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元の学習内容	単元の評価規準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)
一学期	古典文法① ［内容］ 「歴史的仮名遣い」「品詞」「係り結びの法則」「動詞」「形容詞」「形容動詞」「助動詞(き・けり・つ・ぬ・たり・り)」	a:歴史的仮名遣いや品詞、用言、助動詞について理解している。 c:古文読解に欠かせない必要最低限の文法事項を理解しようとしている。	定期考査 小テスト		提出物 振り返りシート
	読解① ［教材］ 「沙石集」「宇治拾遺物語」「古今著聞集」「土佐日記」	a:文章中の文法事項や単語を理解している。 b[読]:人物の関係性などを整理しながら適切に文章を読み取っている。 c:意欲的に文章読解に取り組もうとしている。	定期考査 提出物	定期考査 提出物	提出物 振り返りシート
二学期	古典文法② ［内容］ 「助動詞(る・らる・す・さす・しむ・む・べし・らむ・けむ・ず・じ・まじ・らし・めり・なり・まし・まほし・たし・ごとし・なり・たり)」	a:助動詞について理解している。 c:古典的な知識が現代にも通じていることに気づき、古典作品に親しむ態度を深めている。	定期考査 小テスト		提出物 振り返りシート
	読解② ［教材］ 「無名抄」「今鏡」「土佐日記」「檜垣嫗集」「今昔物語集」「平家物語」「方丈記」「枕草子」	a:文章中の文法事項や単語を理解している。 b[読]:人物の関係性などを整理しながら適切に文章を読み取っている。 c:意欲的に文章読解に取り組もうとしている。	定期考査 提出物	定期考査 提出物	提出物 振り返りシート
三学期	古典文法3 ［内容］ 「敬語」	a:基本的な敬語について理解している。 c:古典的な知識が現代にも通じていることに気づき、古典作品に親しむ態度を深めている。	定期考査 小テスト		提出物 振り返りシート
	読解③ ［教材］ 「竹取物語」「定頼集」	a:文章中の文法事項や単語を理解している。 b[読]:人物の関係性などを整理しながら適切に文章を読み取っている。 c:意欲的に文章読解に取り組もうとしている。	定期考査 提出物	定期考査 提出物	提出物 振り返りシート

※表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度
※単元の評価規準[ｂ]について…括弧内には[　話／聞、書、読　]のどれか一つを記入して下さい。
※年間の各領域時間数
・話すこと／聞くこと　…　（　　０　　）時間
・書くこと　…　（　　０　　）時間
・読むこと　…　（　　７０　　）時間